1.5 m 望遠鏡の移設と 広島大の研究計画



広島大学

宇宙科学センター 川端 弘治、大杉節 理学研究科 深沢泰司

広島大学における天文学研究グループ

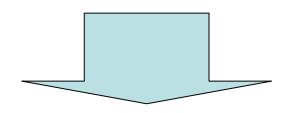
- •高エネルギー天文グループ(大杉、深沢、吉田、岩田) ガンマ線衛星GLAST: 主要検出器の開発 (素粒子実験で培った半導体検出器の実績) X線衛星Astro-E2: 硬X線検出器HXDの開発
- ●宇宙理論物理学グループ(小嶌、山本) ブラックホール、中性子星、宇宙論、大規模構造
- •宇宙科学センター(大杉、川端)

X線天文学、ガンマ線天文学

- 1.5m光学赤外線望遠鏡(赤外シミュレータ) 西日本の適地へ移設(岡山/広島 サイト調査報告) 本格的な研究活用、シミュレータ機能の継承 (院生・学生教育、科学リテラシーの起爆剤)
- •教育学研究科 自然システム学講座(林) 50cm望遠鏡の地学教育利用、観望会、講演会、天体ライブ画像配信

1.5 m 望遠鏡の移設

- ・岡山天体物理観測所の活性化
- ·西日本大学連合 (京大計画)



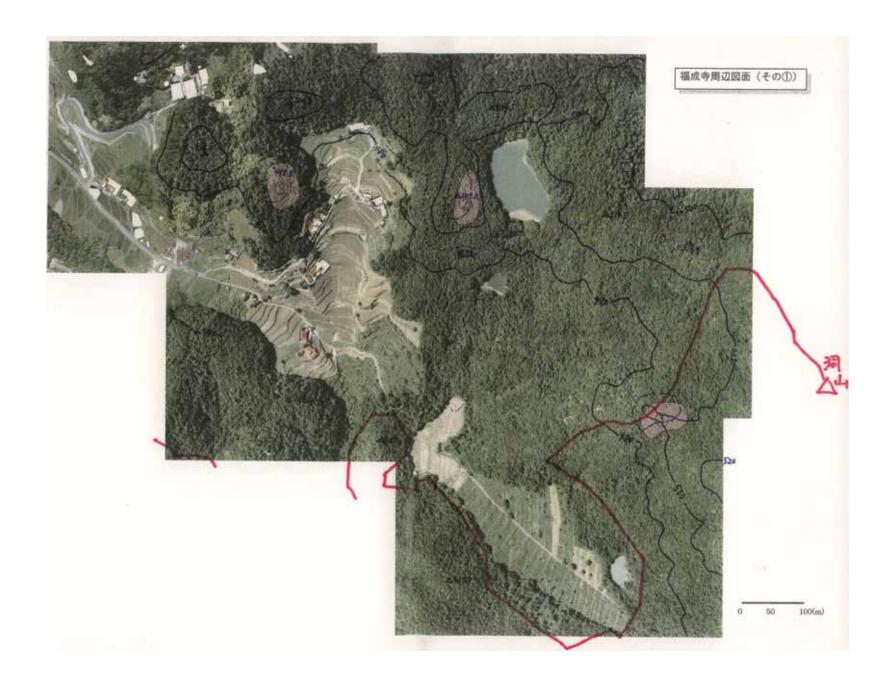
- ・1.5 m 赤外シミュレーター を岡山へ移設(その後、移設先として広島を検討)
- ・広島大が主体に運用、西日本大学連合を 主とした共同利用、教育利用

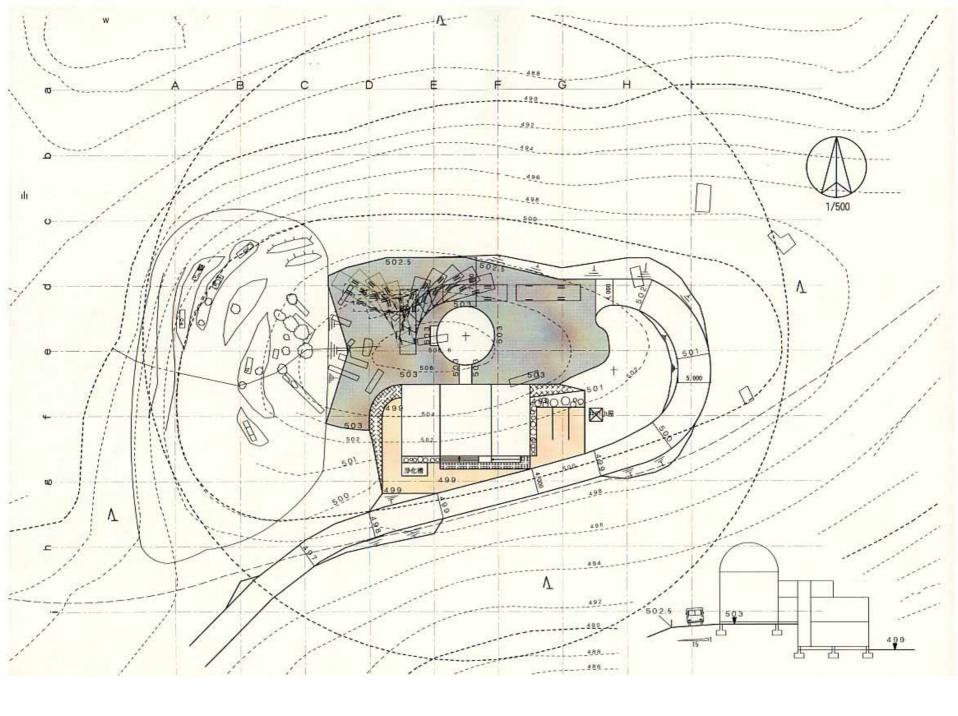
望遠鏡移設

- 科学的条件調査(シーイング、夜空輝度、気候)
- 社会的条件調查(土地、法令、金額、工期、文化財)
- 平成17年春~夏 地盤調査、ドーム施設建設開始
- 平成17年冬 望遠鏡移設
- 平成18年春 観測開始

サイト調査報告 (広島/岡山比較)







宇宙科学センターの研究計画

最新X線・ガンマ線データへのアクセシビリティ 大学望遠鏡の柔軟な観測時間

独自の多波長連携観測研究

主要観測テーマ

- -ガンマ線バースト初期残光観測
- -未同定GLAST天体の光学同定
- -ブラックホール候補天体や特異パルサーの測光·分光モニター
- -超新星の測光・分光モニター

装置開発計画

- 可視・近赤外 広視野撮像装置 視野10分角、簡易分光、偏光 ナスミス焦点に常設(GRB出現時優先観測)
- 可視低分散分光偏光器 視野5分角、撮像、分光、偏光
- 望遠鏡機能更新
 - 駆動高速化(50%アップ)
 - 第三鏡自動着脱器
 - ナスミス・インストゥルメントローテーター

研究開発基盤整備

- X線天文学、ガンマ線天文学
- 検出器開発(X線、ガンマ線)

- 人員
- 観測装置
- 望遠鏡の柔軟な運用
- 可視光による高エネルギー天文学

他機関との連携

医療用X線機器 加速器センター(素粒子実験) 国立天文台 高エネルギー宇宙グループ 岡山観測所 西日本大学 宇宙科学センター 連合 広島大学 次世代X線 **GLAST** Astro-E2 SLAC, UCSC, etc JAXA、東大、理研、 衛星 阪大、京大、etc

宇宙科学センターと他機関との連携

- 望遠鏡移設·建設 調整作業
- 観測研究
- 装置開発
- 共同利用
- 教育·科学啓蒙

国立天文台

岡山観測所

西日本大学連合

JAXA

NASA/SLAC

その他大学・研究機関

東広島市

今後の計画 1

- 完全空乏型CCDの開発への寄与
 - 宮崎氏(国立天文台ハワイ)PIのグループ
 - 900-1050 nmの量子効率が高〈フリンジの無い 理想的なCCD 広視野カメラの目的に合致
 - Hyper Suprime、JASMINE --- 大量需要
 - 1.5m望遠鏡を用いた試験観測
 - 国産安定供給基盤の実現(GLASTシリコンセンサー開発の経験)

今後の計画 2

- 平成17年度~
 - 望遠鏡移設 --- 岡山
 - 装置開発本格化 --- 岡山、協力グループ募集

- 平成18年度~
 - 観測開始
 - 研究推進(Astro-E2、GLASTのデータ)

 多波長観測による高エネルギー天体研究の協力者募集
 (特にGLAST国内拠点グループ)